

# 「和歌山を、宇宙からの防災・教育の拠点に」シンポジウム

主催：和歌山大学（和歌山大学宇宙教育・防災構想実行委員会）

協力：日本宇宙少年団 和歌山分団（和歌山リビング新聞社）

日時：平成 26 年 2 月 22 日（土） 13:30～15:30

会場：和歌山大学 基礎教育棟G101 教室

今後起こると予測されている巨大地震や多発する豪雨災害などに備え、“宇宙”の視点を取り入れて防災について考えるシンポジウム「和歌山を、宇宙からの防災・教育の視点に」が、和歌山大学で開催されました。

シンポジウムの司会を務めるのは実行委員会のメンバーでもある和歌山大学宇宙教育研究所の秋山演亮特任教授で、日本宇宙少年団和歌山分団の顧問。シンポジウムの開催サポートとして、分団員たちが参加協力。青いYACのユニフォームを着用した分団員たちが、シンポジウムの来場者たちの会場誘導や受付業務などを行いました。

シンポジウムには有識者が登壇し、それぞれの立場で「宇宙からの防災・教育」の現状を報告。和歌山大学では宇宙教育研究所が中心となり、国の機関と協力しながら、人工衛星を利用した災害時の情報収集について全国でも先駆的な研究を進めていることが発表されました。こうした大学がもつ技術やシステムを生かし、和歌山が「宇宙からの防災」を実現する拠点となるべく、地域、国、アジア、また大学間の連携強化の必要性が確認されました。

## シンポジウム参加者



二階俊博・衆議院議員



西村英俊・東アジア・アセアン経済研究センター事務総長



松井孝典・千葉工業大学惑星探査センター所長



石川好・酒田市美術館長・ノースアジア大学客員教授



山本健慈・和歌山大学学長



シンポジウムの様子



宇宙少年団和歌山分団の子どもたち